

# AFC Forum フォーラム

Agriculture, Forestry, Fisheries, Food Business and Consumers

12

2017

特集 日本食、世界化への視界



# AFC Forum フォーラム 12

Agriculture, Forestry, Fisheries, Food Business and Consumers

2017

## 特 集

# 日本食、世界化への視界

## 3 日本食の魅力を世界化する基盤の整備

加藤 一隆

海外で日本食レストランが急増する中、日本食文化を広め農畜水産物・食品などの輸出拡大を図るための課題克服がミラノ万博での体験から見えてきた

## 7 現地の人々に受け入れられる日本食を

粟田 貴也

「おもてなしの心」と「手づくり・できたて」の味で世界の外食産業ベスト10入りを目指す海外展開のリーディングカンパニー。日本の外食文化を世界へ広げる戦略を語る

## 11 グローバル世界に日本食文化の価値観

辻 芳樹

日本の食文化を世界に発信するためには、食に関わる全ての人たちとの連携により食の教育拠点を形成し、変化に対応した食の革新が必要だ

## 特別企画

## 15 平成29年度アグリフードEXPO輝く経営大賞(東日本エリア) ～駆け上がる地域農業の担い手たち～

有限会社ジェリーピーンズ／千葉県

## 経営紹介

### 変革は人あり

## 23 東洋ライス株式会社／和歌山県 雜賀 慶二

よく耳にする「無洗米」や「金芽米」の発明はコメに混ざった石を取り除く「石抜き機」の製作がスタート。ただ社会に貢献したいと発明王は語る

### 経営紹介

## 27 有限会社山口農園／奈良県 山口 貴義

ユニークな社内外人材育成制度と独立就農者支援による組織力強化をマネジメントの両輪に、取引先からの需要に応え規模拡大を図る



撮影:鎌形 久  
新潟県新潟市秋葉区  
2017年初冬撮影

シクラメン

■年末にかけて出荷の最盛期を迎えるシクラメン。色鮮やかな花は本格的に迎えた冬を彩る ■

## シリーズ・その他

### 観天望気

高付加価値化の食 木立 真直 ..... 2

### 農と食の邂逅

芳賀 ひとみ／北海道 青山 浩子(文) 河野 千年(撮影) ..... 19

### フォーラムエッセイ

お鏡さん 岩下 尚史 ..... 22

### 耳よりな話 188

11年ぶりに乳牛の飼養標準改訂 阿部 啓之 ..... 26

### 書評

中村 修 著  
『ごみを資源にまちづくり 肥料・エネルギー・雇用を生む』  
宇根 豊 ..... 29

AFCフォーラム総目次(2016年4月号～2017年12月号) ..... 30

みんなの広場・編集後記 ..... 37

### ご案内

第11回アグリフードEXPO大阪2018 ..... 38

## 1月号予告

特集は、消費者との価値共有がもたらす新しい農業を予定。資金支援や経営の関与など、消費者と農業者の新たな関係が広まりつつある。消費者に支持される農業とは何か、その動きを追う。

\*本誌掲載文のうち、意見にわたる部分は、筆者個人の見解です。

# 觀天 望氣

## 高付加価値化の食

成熟化しつつあるわが国の食市場では高付加価値化の視点は欠かせない。食事業者が既存の食品・サービスのコストを削減し安価に消費者に提供するだけでは、市場規模は不变なのでシェアの奪い合いとなり価格競争が生じる。一方、新規の価値を持つ食品・サービスを適切な価格で提供する価値提案の革新は、需要創造で市場を拡げ、品質差別化により市場競争の回避を可能にする。働き方の面ではコスト・カットは乾いた雑巾を絞るようになりがちなのに対し、生活者への価値提案には無限の世界が広がる。

食事業者が高付加価値化戦略に取り組むには人材力が必要条件だ。一般に人手確保がますます難しくなっているが、大学生の声を聞くと食産業を志望する学生は少なくない。就職人気企業ランキングの上位にはビール会社などが割拠している。学生は好きなことに携わりたいと言う。これまで、食べることが嫌いだという学生に出会ったことはない。また、健康なかぎり食べない人はいない。食は人類に必須な超歴史的行為なのだ。現存する自動車メーカーが百年ほどの歴史にとどまるのに対し、食産業には創業数百年の老舗企業が多数存在することは誇ってよい。

しかし残念なことに、同じ食産業でも小売りや外食は人材の確保に苦戦している。理由は簡単で、週末休めない、夜も仕事などの労働条件のイメージによる。また、学生が描くキャリア像との齟齬もある。学生の多くは小売り・外食の店舗で数年、経験を積んだ後は本部で商品開発など専門的な業務に関わりたいとの希望を持つ。だからといって、チェーン企業は収益を生み出す店舗を縮小して、コストセンター的要素が強い本部を肥大化させるわけにいかない。しかし最近、明るい兆候もある。小売りでいえば現場の提案を重視する個店主義への経営戦略の転換だ。チェーンの店舗で本部主導による単なる人手ではなく、若手も個店起点の革新の担い手たることが期待されている。外食では主客双方の満足度を高めるホスピタリティ事業の強化と多面化により人材育成に注力する企業も出現している。人材力を基礎に、効率より豊かさを重視した食の高付加価値化戦略の展開が期待される。



中央大学商学部 教授

**木立 真直**

きだち まなお  
1956年生まれ。85年九州大学大学院博士課程修了、農学博士(農政経済学専攻)。92年より中央大学商学部勤務。96年コーネル大学、97年エディンバラ大学、2005年モナッシュ大学でそれぞれ1年間客員教授。09年4月~12年3月中央大学企業研究所所長。15年11月~17年10月商学部長。主な研究テーマは食品流通などフードビジネス論。編著書『流通経済の動態と理論展開』(同文館出版)など。

二五歳で酪農経営を  
父親から受け継ぐ

昔ながらの酪農方法も  
たくさんお父さんから

まだまだ学びたいです

## 農と食 の邂逅

芳賀 ひとみ さん

北海道川上郡弟子屈町

芳賀牧場

規模拡大、飼料効率重視が流行の時代に、「低燃費酪農」を称する「TNR」を標榜し、粗飼料主体の給餌で、小規模だが、収益率の高い安定した経営を実現する。牛舎裏手の牧草地に放牧し、ストレスの少ない飼育である。





P19:牛がストレスなく過ごせるように世話をするひとみさん P20:放牧場で運動を終え、お腹がすいた牛たち。牛舎に用意されたご飯をめがけて駆けている(右下) 牛舎内は常に清潔に保つよう心掛けている(右下左) 力仕事が多く「時には、腰が痛くなる」とほほ笑む(右下左) 就農直後から、月次決算書や確定申告書類を正美さんと見ながら、改善案を探ってきた。経営者になった今も、父と話し合いながら進める日々の仕事に変化はない(左)

## 同級生から多くを教わった

「トラクターを運転するお父さんの横に座るのが大好きでした。小学生の頃は牧場の手伝いもしていました」——。四〇頭の搾乳牛を飼養する牛舎。そのすぐ裏手の山には、五ヶ所の放牧場が広がっている。山を越えれば、透明度の高さで知られる摩周湖がある。そんな場所に芳賀ひとみさん(二七歳)一家が営む芳賀牧場はある。

お父さん子だったひとみさんも、中学生になると反抗期を迎え、牧場に足を踏み入れることすらしなくなった。しかし最終的に、酪農

農経営科(現在は機農コース)がある酪農学園大学附属とわの森三愛高校への進学を自分で決めた。同校は札幌市に隣接する江別市にあり、全寮制のため実家を離れることになる。「まず、中学生のときは外に出たかったんですけど(笑)。高校の先生に直接、学校のことを聞いたこともあったかな」とひとみさん。少し間をあけて、「でも頭の片隅では、家のことをずっとと考えていたかも」

ひとみさんは三姉妹の次女。二歳違いの姉は自分の好きな道に進むと決めていた。両親から家を継いでくれと言わされたわけではない。両親の背中を見ながら、ひとみさんは牧場を継ぐ気持ちを徐々に育んでいったのだろう。

高校での三年間は、またとない経験となつた。「とにかく、みんなハイレベルで」。酪農経

農科には、「酪農家になる」と決めて入学した

酪農家の子弟もいれば、動物が好きで、獣医を目指す非農家の友人もいた。しっかりと夢を抱き、勉強に励む仲間の存在は、ひとみさんの刺激となつた。寮生活を共に送りながら「友人と自分の差はどこにあるのか」と、自らを振り返る時間も持つことができた。「私はマイペース。与えられた仕事はそれなりに頑張つてやりました。でも周りの子は、次にどんな作業があるのかを常に考えながら段取りよく作業をしていて、やっぱいつて思いました。一生付き合える友人ができたのは高校の時です」

また、学内や学外の酪農家での実習を通じ、大規模から小規模までさまざまな酪農のスタイルに接することもできた。北海道立農業大学校を卒業後、二〇歳で就農。ほぼ一人で牧場を管理してきた父、正美さん(六八歳)と一緒に仕事をするようになった。

## 低燃費酪農の良さを立証

芳賀牧場では、牛たちが食べる牧草を全て自給している。一頭の牛が一日に食べる牧草は乾物換算でなんと六五キログラム。一方、トウモロコシを含む配合飼料は二キログラム程度。いわば、粗飼料主体の給餌方法だ。実際に牛たちの「ご飯」を見せてもらつたが、配合飼料はふりかけ程度だった。正美さんは「昔はどこもやっていたやり方」だと言う。

勉強を終えて戻つたひとみさんは、このスタイルに一抹の不安を感じた。「実習先でも友だちとの会話でも、どうやつたら規模拡大

ができるか、一頭当たりの乳量をいかに増やすかが話題でした。うちの一頭当たりの年間乳量も六〇〇〇キログラム弱と平均より少ない。経営として成り立つかと心配になりました

した」

普及員に相談すると、「そう思うなら、自分で検証し、4Hクラブ（農業青年クラブ）のプロジェクトで発表してみたら？」と提案され



放牧場をバックに正美さん、加代子さん、猫たちと。雨天が続いた弟子屈町。加代子さんは晴れ間にねらって収穫した野菜を乾燥させていた

に、乳飼比（乳代のうち購入飼料費が占める割合）が一ー%と低い。機械類は正美さんがほぼ自前で修繕するため修理費も少ない。このため、所得率は平均より高いことが分かった。一頭当たりの乳量は少なく、乳代売り上げも低め。だが、それと経営は別だ。何より、牛が健康であるとのメリットは大きい。草を多く食べ、放牧場を自由に動くのでストレスなく過ごし足腰が丈夫になる。つまり、病気かかりにくい。病気になれば治療費もかかり、投薬期間中の生乳を出荷できないなど経営への影響は大きい。芳賀農場は小さくても安定した酪農経営を実現していたのだ。

### お父さんみたいな人になる

ひとみさんはこれを「TMR（低燃費酪農）」と命名した。「熱量の低い餌でも、しっかりと仕事をしてくれるの低燃費。低燃費の乗用車が人気だったこと、そしてTMRを少しもじつてみました」。TMR（Total Mixed Ration）とは、粗飼料や配合飼料など混ぜた牛の餌のことだ。一年がかりで検証した結果を4Hクラブのプロジェクト発表で披露した。取り組みでひとみさんが得たものがもう一つある。「親への感謝です」とぼつり。「父と母（加代子さん）はいろいろ苦労したはず。でもこの飼い方で、お金をためて、私たち姉妹を学校に行かせてくれた。ほんと、すみませんって感じです」

地域の酪農家の経営状況について調べた。すると、平均的な酪農経営体と比べ、芳賀牧場では経費負担が少ないと分かった。特

に、乳飼比（乳代のうち購入飼料費が占める割合）が一ー%と低い。機械類は正美さんがほぼ自前で修繕するため修理費も少ない。このため、所得率は平均より高いことが分かった。

一頭当たりの乳量は少なく、乳代売り上げも低め。だが、それと経営は別だ。何より、牛が健康であるとのメリットは大きい。草を多く食べ、放牧場を自由に動くのでストレスなく過ごし足腰が丈夫になる。つまり、病気かかりにくい。病気になれば治療費もかかり、投薬期間中の生乳を出荷できないなど経営への影響は大きい。芳賀農場は小さくても安定した酪農経営を実現していたのだ。

将来の計画はすでに立ててある。お嬢さんをもらい、搾乳牛の頭数を今の倍くらいにすることだ。「両親、私たちと子どもの三世代が暮らすには、今よりも多くの売り上げが必要。欲を張るつもりはないけれど、一年に一度は家族で旅行に行けるぐらいになりたい」正美さんは農業者年金の受給を機に経営移譲を決めており、二五歳のひとみさんに經營を引き継いだ。経営主となつた今も、ひとみさんは「できる限り父と一緒に仕事をしたい」と考えている。「お父さんみたいな人になりたい。仕事には真面目で人には優しい。新しいことに挑戦をさせてくれる。酪農のやり方にも流行みたいなのがありますが、私は昔ながらのやり方も大事だと思う。それをたくさん、お父さんから学びたい」

こんなことを娘から言われたら、父親はどんなにうれしいことか。正美さんに水を向けたが、うまくかわされた。それでも「娘はまだ一人前にはほど遠いですよ」と話す表情は、至極うれしそうだった。

（青山浩子／文、河野千尋／撮影）

F

# Forum Essay

フォーラムエッセイ

にんじん、ごぼう、だいこん、さといも。

どれも一里四方の畑で採れたものばかり、昆布と鰯の細切りがあるかなきかに添えたら、大きめの鍋で煮るだけ。

あとは醤油をほんの一トたらし——。

煮えたところへ丸餅を入れ、椀に盛る前に、さッと茹でた京菜をあしらう。

これを料理屋風に出汁など引いては、なくともよい旨味が湧いて邪魔だてをする。

それだけに、同じ材料で作つても、ふるさとの老母が揃えていた、元旦の祝いの膳に湯気の立つ、なつかしい、雑煮の味とはならない。

水をはじめ、なりものを育てる土の違いには争えないものがある。

私にとつて「風土」という二字の意味は、その土地で採れた食べ物を味わう時の、しみぐとした実感にほかならない。

阿蘇ヶ嶽の裳裾もすそに当たる菊池きくちという、中世以来の古い町では、年神様にお供えの鏡餅に、洗米を紙で拈ひねつて添える習わしがある。

子どもの頃は、あたりまえに眺めていたが、進学して迎えた東京の正月には無い飾りであることに気づいた。

そんな時、大学の図書館で柳田國男の著作を読んでいた時、ゆくりなく、それは九州の中ほどの山間部で「おとび」と呼ばれた民俗であることを知った。

それを憶おぼえていたので、昨年、ふるさとを訪ねた折に集まってくれた幼なじみに、鏡餅について尋ねたところ、八人のうち三人は親が飾つているから自分は知らないと答え、一人はコンビニで売っている真空パックのまま飾ると言い、あの三人は飾らないと言った。

何れも子や孫を持つ中爺さんばかりである。

ふるさとに伝承されて来た、風土に基づく暮らしの文化は、誇りと共に、遠からず消えるかもしれない。

しかし、似たような地域も多いのに違いない。  
それを思うと、ふるさとを捨てた私でさえ——と言うよりも、それだからこそ、さびしいというよりも、おそろしいような気がする。

F

作家  
岩下 尚史



いわした ひさふみ  
1961年熊本県生まれ。國學院大學文学部卒業。新橋演舞場株式会社に入社し、企画室長を経て、処女作『芸者論 神々に扮することを忘れた日本人』で第20回和辻哲郎文化賞受賞。これを機に創作家となり、小説『見出された恋「金閣寺」への船出』『直面(ひためん) 三島由紀夫若き日の恋』『大人のお作法』などを著す。伝統文化への造詣が深く、テレビや講演会でも活躍。國學院大学客員教授。

かがみ  
お鏡さん

# 11年ぶりに乳牛の飼養標準改訂

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

畜産研究部門 家畜代謝栄養研究領域長

阿部 啓之

農

研機構では畜産研究部門を事務局として、四種類の日本飼養標準（乳牛・肉用牛・豚・家禽）と日本標準飼料成分表の順次改訂を行っています。

日本飼養標準というのは、家畜・家禽が正常に発育し、乳・肉・卵を生産していく上で必要となる栄養素の量を示すとともに、その飼養管理についての解説、注意すべき事項などを取りまとめた総合的なマニュアルで、畜産農家・行政・普及組織などの畜産現場

や畜産学の教育機関などにおいて使われています。

また、日本標準飼料成分表は、わが国で使われている飼料素材を網羅し、その化学成分や栄養価を示しているものです。

これら飼養標準と標準飼料成分表を基に、家畜・家禽のそれぞれのステージ、例えば、育成、肥育、泌乳、妊娠、産卵などにおいて、どの飼料をどれだけの比率と量で与えるかの組み合わせを決めていきます。

この話が掲載される二月までには、一牛二〇一七年版』が刊行されます。改訂に当たって、広く大学、公設試験研究機関、民間（飼料会社やJ.A.など）、行政機関などと共に部会を立ち上げ、知恵を出し合い、前回（二〇〇六年）の改訂時からの乳牛の飼養状況の変化を受



4つの日本飼養標準と日本標準飼料成分表

け、新しい研究成果による知見の取り入れなどを行いました。

今回の改訂のポイントは、①子牛の離乳前のカーフスターの摂取量、離乳後から三ヶ月齢までの乾物摂取量の推定式の導入、②最近、乳牛でも使われるようになってきた飼料用米、高糖分の稻発酵粗飼料品種を含めた飼料イネ、ニアコーンの利用技術の解説の充実、③畜産環境問題の解説の充実、④泌乳曲線の平準化の考え方による泌乳持続性の改良、産次数増加、生涯生産性向上などに向けた解説、⑤搾乳ロボットでの飼養管理技術、乳房炎の情報等の追加など海外文献を含めた新しい知見の追加です。

改訂時から現在に至る間の牛の能力（増体能力や肉質など）の大きな向上もあり、また簡単に外国からデータを引用することができないため、約一〇年間、国内で積み上げてきた研究成果を踏まえた改訂を行うこととなります。

オールジャパンの取り組みとして、現場での要望を伺いながら、幅広く活用される日本飼養標準・肉用牛を作り上げていきたいと考えています。



## Profile

あべ ひろゆき

1958年兵庫県生まれ。85年北海道大学大学院獣医学研究科修士課程修了。同年農林水産省に入省、畜産試験場栄養部に配属。以降、農業生物資源研究所などを経て、2014年から現職。博士（獣医学）。専門は家畜・家禽の栄養素代謝の研究。

## 『ごみを資源にまちづくり 肥料・エネルギー・雇用を生む』

中村修著



(農山漁村文化協会・1,800円 税抜)

### ちがう未来を見るために

宇根 豊

(百姓・思想家)

静岡県沼津市で「分ければ資源、混ぜればごみ」を合い言葉に、ごみの分別が始まつたのが一九七五年だ。今では全国の市町村の手本となっている。

これで終わりではないことを学んだ。

現在のごみの焼却施設と下水道は、もう時代遅れになつてゐる。無駄だからである。まず、市町村に重い財政負担を強いている。ごみの分別が進み、人口が減少しているので、焼却施設は全国で集計すると、処理能力の六七%しか使われていない。下水道は管を埋設するので、合併浄化槽に比べれば一人あたり六倍の建設費がかかる。いずれも維持管理費が馬鹿にならない。さらに、資源とエネ

ルギーの浪費だ。

福岡県大木町は焼却施設も下水道もない。その代わりに「循環施設」(愛称:ぐるるん)が、もう一年以上稼働していて、見学者は外国からも

やつてきて年間二〇〇〇人を超える。しかも町の中央部にあり、レストランや農産物の直売所も併設されている。

「循環施設」とは、生ごみと、し尿と、合併浄化槽から出る汚泥を嫌気性発酵させて、メタンガスと液肥を生み出すものだ。メタンガスは発電に、液肥は農業に使われている。

これまでの循環施設が必ずしもうまくいかなかつたのは、「まちづくり」「仕事づくり」につなげなかつたからだ、と著者の中村修は言う。この本がとてもいいのは、循環施設の建設だけではなく、むしろ市民がいかに関わればいいかを、「つながり支援事業」として、具体的に提案しているところである。行政職員に負担を強いるのではなく、市民が一翼を担うしくみがさまざまに考えられている。

たとえば、液肥は七〇糝の田畠で活用されるが、百姓の組織化が進み、足りない。液肥で育てられた米は学校給食に使われている。

さて、今年生まれた子どもは、二〇五〇年には三三歳になり、働き盛りになるが、日本国の生産年齢人口(二十五~六四歳)は減つて、人口の約半分になる。つまり働き手一人で働く人を一人支えないといけなくなる。無駄な力などどこにもない、と中村は力説している。

ぜひとも、全国の市町村長や役場の職員は、耳を傾けてほしい。私たちもまた、他人事ではない。中村は言う「半歩踏み出した地域だけが、一步先のちがう世界を見ることができます」と。

F

### 読まれています

三省堂書店農林水産省売店 (2017年10月1日~10月31日・税抜)

タイトル	著者	出版社	定価
1 研修テキスト 森林・林業の基礎知識	全国林業改良普及協会/編	全国林業改良普及協会	1,500円
2 家畜伝染病予防法関係法規集 平成29年版	農林水産省 消費・安全局 動物衛生課/監修	文永堂出版	14,000円
3 Wedge11月号「大量離農時代」の切り札 スマート農業		ウェッジ	463円
4 全国棚田ガイド TANADAS	中島 峰広/監修、 NPO法人棚田ネットワーク/編	家の光協会	2,500円
5 農業と経済2017年10月臨時増刊号 農業競争力強化プログラムがめざす農業像	「農業と経済」編集委員会/編	昭和堂	1,700円
6 ルポ 農業新時代	読売新聞経済部/著	中央公論新社	860円
7 JAに何ができるのか	奥野 長衛、佐藤 優/著	新潮社	1,200円
8 協同組合の源流と未来 相互扶助の精神を継ぐ	日本農業新聞/編	岩波書店	1,800円
9 アグリビジネス進化論 新たな農業経営を拓いた7人のプロフェッショナル	有限責任監査法人トーマツ・農林水産業ビジネス推進室/著	プレジデント社	1,500円
10 ITと熟練農家の技で稼ぐ AI農業	神成 淳司/著	日経BP社	1,800円

# AFCフォーラム 総目次 2016年4月号(第788号)~2017年12月号(第808号)

2016年4月号(第788号)

\*バックナンバーはホームページ([www.jfc.go.jp/n/findings/publish.html](http://www.jfc.go.jp/n/findings/publish.html))からご覧いただけます。

## 特集

### 農水産物輸出成功の視線

- 農産物輸出には日本食文化のすすめ 夏目 博人
- 徹底したマーケティングで輸出拡大を 川原 文香・阿部 あづ希
- 米卸が海外市場で輸出拡大する知恵 矢野 裕二郎

## 情報戦略レポート

- 食品関係企業の約3割が輸出を強化
- 5割近くがインバウンド消費に関心
- 2015年上半年 食品産業動向調査—

## 経営紹介

- 経営紹介 丸彦製菓株式会社／栃木県
- 変革は人あり 中津隈 一樹 株式会社農樹／京都府

## シリーズ・その他

- |             |                                |        |
|-------------|--------------------------------|--------|
| ■観天望気       | 都市農業の見え方                       | 柴田 明夫  |
| ■農と食の邂逅     | 寿雀株式会社 三橋 真秋／神奈川県              | 青山 浩子  |
| ■耳よりな話      | 乳牛のエネルギーバランス                   | 葦澤 圭二郎 |
| ■書評         | 阿部 希望 著『伝統野菜をつくった人々「種子屋」の近代史』  | 青木 宏高  |
| ■まちづくりむらづくり | 歯舞漁業協同組合／北海道根室市                | 平山 明   |
| ■インフォメーション  | 「アグリフードEXPO大阪2016」の来場者過去最多     | 情報企画部  |
|             | 就農希望者を育成する「とやま農業未来カレッジ」で講義     | 富山支店   |
| ■交叉点        | 官民一体の「韓国木材視察・商談ミッション」を開催       | 熊本支店   |
| ■その他        | AFCフォーラム総目次(2015年4月号～2016年3月号) |        |
|             | みんなの広場・編集後記                    |        |
|             | 第11回アグリフードEXPO東京2016           |        |

2016年5月号(第789号)

## 特集

### 企業的農業で拓く可能性

- 栽培力と経営力のある魅力的農業ビジネス 三輪 泰史
- 集落営農組織法人化で描く地域ビジョン 田中 尚智
- 農業価値を創造して持続的発展を果たす 坂上 隆

## 情報戦略レポート

- 中国人訪日旅行客、「寿司」「刺身」
- 「お好み焼き」に大満足
- 中国人訪日旅行客実態調査—

## 経営紹介

- 経営紹介 有限会社わたなべ牧場／島根県
- 変革は人あり 蠟澤 七郎 ダンフルーズ株式会社／愛知県

## シリーズ・その他

- |             |  |            |
|-------------|--|------------|
| ■観天望気       | 水田利用方式の可能性                                   | 佐藤 了       |
| ■農と食の邂逅     | 農業生産法人有限会社 STRAWBERRY FARM 陽一郎園 大畠 佳美／香織／群馬県 | 青山 浩子      |
| ■フォーラムエッセイ  | ごはんだよー                                       | 西村 淳       |
| ■主張・多論百出    | Food Watch Japan 編集長                         | 齋藤 訓之      |
| ■耳よりな話      | トランプ脂肪酸問題の行方                                 | 都築 和香子     |
| ■まちづくりむらづくり | 飯豊町商工観光課観光交流室／山形県飯豊町                         | 伊藤 満世子     |
| ■書評         | 安富 六郎 著『武蔵野・江戸を潤した多摩川』                       | 宇根 豊       |
| ■インフォメーション  | 第11回「アグリフードEXPO東京2016」を開催します                 | 情報企画部      |
|             | 福井市内で融資先交流会を開催                               | 福井支店       |
|             | 京都の食に関するインバウンドセミナーを開催                        | 京都支店       |
| ■交叉点        | アジアの農業金融関係者が静岡県の先進農業を視察                      | 静岡支店・情報企画部 |
| ■その他        | みんなの広場・編集後記                                  |            |
|             | 第11回アグリフードEXPO東京2016                         |            |

2016年6月号(第790号)

## 特集

### 農業の発進! 東京五輪へ

- 日本農業と和食を海外市場に結び付ける 中嶋 康博
- 農業者、地方自治体が動く世界市場戦略 窪田 新之助
- メダル獲得には食材の力が効果的になる 石川 三知
- 『もうひとつの東京五輪』を語る 木造・木質化が東京五輪のレガシーになる 小島 孝文

## 情報戦略レポート

- 農業景況DI 2015年は大幅改善
- 調査開始以来最高値
- 2015年下半年 農業景況調査—

## 経営紹介

- 経営紹介 有限会社モリシゲ物産／埼玉県
- 変革は人あり 椎名 正剛 有限会社椎名洋ラン園／千葉県

## シリーズ・その他

- |             |   |       |
|-------------|---|-------|
| ■観天望気       | 隗より始めよ  | 坂根 正弘 |
| ■農と食の邂逅     | 株式会社トマトの村 野村 妙子／高知県                           | 青山 浩子 |
| ■フォーラムエッセイ  | 出会いに感謝!                                       | 前田 亜季 |
| ■耳よりな話      | 常識破った養液栽培技術                                   | 吉岡 宏  |
| ■まちづくりむらづくり | シェアビレッジプロジェクト 株式会社kedama／秋田県北秋田市              | 武田 昌大 |
| ■書評         | 河合 浩樹 著『虫たちと作った世界に一つだけのレモン』                   | 村田 泰夫 |
| ■インフォメーション  | 新規就農者を対象とした研修会を開催                             | 鳥取支店  |
|             | 長崎県公庫水産友の会を開催                                 | 長崎支店  |
|             | HACCP支援法に基づく指定認定機関勉強会を開催                      | 融資企画部 |
| ■交叉点        | 若手農業者育成セミナーを開催                                | 青森支店  |
| ■その他        | スーパーL資金の実質無利子化のための<br>金利負担軽減措置、実質無担保・無保証人貸付措置 |       |
|             | みんなの広場・編集後記                                   |       |
|             | 第11回アグリフードEXPO東京2016                          |       |

## 2016年7月号(第791号)

### 特 集

#### 農産物、業務用という選択

- 加工適性の野菜を追うタネ・ビジネス 棚澤 英昭  
産地が挑む加工業務用特化の野菜作り 今田 伸二  
業務用野菜の振興に供給経路の安定構築 農林水産省生産局園芸作物課園芸流通加工対策室

#### 情報戦略レポート

食品製造業者の7割超がHACCP導入に意欲  
食品産業の製商品の志向は「低価格」がさらに減少  
—2015年下半期 食品産業動向調査—

#### 経営紹介

- 経営紹介 有限会社木村農園／宮崎県  
■ 変革は人あり 玉造 洋祐 有限会社ユニオンファーム／茨城県

### シリーズ・その他

- 観天望気 “飢饉”に備える農家経営 青井 優一  
■ 農と食の邂逅 NOTO高農園 高 博子／石川県 青山 浩子  
■ フォーラムエッセイ 風を感じる暮らし方 深町 貴子  
■ 主張・多論百出 民俗研究家 結城 登美雄  
■ 耳よりな話 酪農関連の碑めぐり(その12) 加茂 幹男  
■ まちづくりむらづくり NPO法人戸田塙の会／静岡県沼津市 花沢 照蔵・中村 多恵子  
■ 書評 金丸 弘美 著『タカラは足元にあり! 地方経済活性化戦略』 青木 宏高  
■ インフォメーション 農業経営者の良き相談相手として 情報企画部  
■ その他 食品製造・加工業者の皆さまへ(HACCP資金のご案内)  
みんなの広場・編集後記  
第11回アグリフードEXPO東京2016

## 2016年8月号(第792号)

### 特 集

#### 今、ものを使う経営理念

- ゼロからのワイナリー立ち上げを成し遂げる 高作 正樹  
ぶれない革新を続ける長寿企業の秘訣 松井 清充  
攻めの経営展開につなぐ事業構想 上原 学

#### 情報戦略レポート

食の志向「健康」が引き続き最多  
ネット通販消費に新たな潮流  
—2015年度下半期 消費者動向調査—

#### 経営紹介

- 経営紹介 株式会社マルハ物産・有限会社マルハファーム／徳島県  
■ 変革は人あり 斎藤 作圓 株式会社秋田ニューバイオファーム／秋田県

### シリーズ・その他

- 観天望気 正当な対価の支払い 新山 陽子  
■ 農と食の邂逅 やまと農産株式会社 高橋 医久子／岩手県 青山 浩子  
■ フォーラムエッセイ 雨後にはイワナを釣りに行く 村上 龍男  
■ 主張・多論百出 ほんものの食べものくらぶ 主宰 手島 奈緒  
■ 耳よりな話 天敵の活用で減農薬体系を実現 後藤 千枝  
■ まちづくりむらづくり 総合政策部 市民協働・自然共生課／長崎県対馬市 小島 繁樹  
■ 書評 水本 邦彦 著『村百姓たちの近世』 宇根 豊  
■ インフォメーション 農業ビジネスの動向について大学生に講義 近畿地区総括課  
コーポレートファイナンスで農業ビジネスを学ぶ 津芝店・情報企画部  
事業化へのヒントが示された六次産業化セミナーを開催 宮崎支店  
創造力あふれる高校生のビジネスプランを大募集 グランプリ運営事務局  
『事業性評価融資』のご案内  
みんなの広場・編集後記  
第11回アグリフードEXPO東京2016

## 2016年9月号(第793号)

### 特 集

#### 魚離れ、いま流通の挑戦

- 昔ながらの魚屋が魚のおいしさを売る 柳下 浩三  
究極の鮮度を極めた魚を売る羽田市場 野本 良平  
魚食を楽しむ生活提案型の水産小売業 織茂 信尋

#### 情報戦略レポート

青年等就農資金利用者の経営課題  
—2016年度 青年等就農資金ご利用先フォローアップ調査—  
INTERVIEW (就農事例) 伏田 直弘／茨城県  
INTERVIEW (就農事例) 北澤 讓／長野県

#### 経営紹介

- 経営紹介 日光水産株式会社／静岡県  
■ 変革は人あり 村田 進 サメの街氣仙沼構想推進協議会／宮城県

### シリーズ・その他

- 観天望気 魚の伝言 佐野 雅昭  
■ 農と食の邂逅 有限会社昭和食品 佐藤 友美子／東京都 青山 浩子  
■ フォーラムエッセイ 好きやちゃ! 昆布 柴田 理恵  
■ 主張・多論百出 坂本屋 当主 石塚 亮  
■ 耳よりな話 温暖化の利点を享受する 杉浦 俊彦  
■ まちづくりむらづくり NPO法人豊かな食の島岩城農村塾／愛媛県越智郡上島町 脇 義富  
■ 書評 海野 洋 著『食糧も大丈夫也 開戦・終戦の決断と食糧』 村田 泰夫  
■ インフォメーション 農林大学校で農業経営と金融を講義 前橋支店  
農水産物・食品輸出セミナー兼トライアル輸出相談会を開催 鹿児島支店  
「アグリフードEXPO輝く経営大賞」受賞者決定  
■ その他 新規就農者向け資金制度のご案内  
みんなの広場・編集後記  
第10回アグリフードEXPO大阪2017

# 総目次

2016年10月号(第794号)

特 集		シリーズ・その他	
<b>変わる農業、動かす金融</b>			
地域金融機関が担うアグリファイナンス メガバンクがコミットする農業ビジョン 地銀が積極的に取り組む農業成長産業化	石橋 由雄 松田 恭子 桧垣 大志	■観天望気 ■農と食の邂逅 ■フォーラムエッセイ ■主張・多論百出 ■耳よりな話 ■まちづくりむらづくり ■書評 ■インフォメーション ■交叉点 ■その他	大規模水田農業経営の実像 安曇野北穂高農業生産組合 丸山 秀子／長野県 料理は昭和の奥さま先生 Sake Brewery Tours 酒サムライ 寒さを逆手に取った「寒締め栽培」 NPO法人エコ・リンク・アソシエーション／鹿児島県南さつま市 下津 公一郎 古川 武彦 著『気象庁物語 天気予報から地震・津波・火山まで』 青木 宏高 第10回「アグリフードEXPO大阪2017」の出展者を募集しています 情報企画部 第11回EXPO東京の来場者、1万4000人超え 情報企画部 香港の食品見本市に公庫のお客さま13社と出展 情報企画部 みんなの広場・編集後記 第10回アグリフードEXPO大阪2017
<b>情報戦略レポート</b>			
農業経営動向の分析公開! 自身の経営計画作成などに活用			
<b>第11回「アグリフードEXPO東京2016」セミナー</b>			
急成長を続ける地ビール会社の独自戦略 オリジナルを追求する3つの取り組み	井手 直行		
<b>経営紹介</b>			
■経営紹介 株式会社TACSしべちゃ／北海道 ■変革は人あり 田島 彰一 合同会社田島柑橘園＆加工所／佐賀県			

2016年11月号(第795号)

特 集		シリーズ・その他	
<b>私の革新、プラス1農業</b>			
地域特性に適応した技術と人材を活かす 国産パン用小麦に挑んだ機械化大規模農業 畜産経営の厳しさを生き抜くイノベーター	鈴木 克己 鈴村 源太郎 加茂 幹男	■観天望気 ■農と食の邂逅 ■耳よりな話 ■書評 ■まちづくりむらづくり ■インフォメーション ■その他	成長産業としての日本農業 カメハメハ大農場の農家カフェ 藤井 和代／福井県 支援組織が支える耕畜連携 山田 優、石井 勇人 著『亡国の密約 TPPはなぜ歪められたのか』 宇根 豊 NPO法人愛のまちエコ俱楽部／滋賀県東近江市 増田 隆・三田 恵理子 「いわて食の大商談会2016」を開催 農業高校生の発想や実践力を養うプラン作成をサポート 三事業が連携し、「わかやま産品商談会」を開催 平成28年度第二次補正予算の概要 みんなの広場・編集後記 第10回アグリフードEXPO大阪2017
<b>特別企画</b>			
平成28年度アグリフードEXPO輝く経営大賞(西日本エリア) ～駆け上がる地域農業の担い手たち～ 株式会社伊藤農園／和歌山県			
<b>情報戦略レポート</b>			
上半期景況はプラス値通年見通しは慎重 収益増に寄与する女性の農業経営参画 —2016年上半期 農業景況調査—			
<b>経営紹介</b>			
■経営紹介 國分農場有限会社／福島県 ■変革は人あり 藤井 照雄 株式会社みどりや／山口県			

2016年12月号(第796号)

特 集		シリーズ・その他	
<b>食農系バリューチェーン</b>			
川下から川中、川上の食農連携は新時代へ 食品メーカーの農業参入に新たなステージ 食品企業の進める持続可能な次代の農業作り	斎藤 修 松原 茂仁 大仲 克俊	■観天望気 ■農と食の邂逅 ■フォーラムエッセイ ■主張・多論百出 ■耳よりな話 ■まちづくりむらづくり ■書評 ■インフォメーション ■その他	日本料理の心 おがわ百商株式会社 小川 貴子／北海道 土のめぐみ アジアネット 代表 酪農関連の碑めぐり(その13) 一般社団法人いなかパイプ／高知県高岡郡四万十町 井手 英策、古市 将人、宮崎 雅人 著 『分断社会を終わらせる「だれもが受益者」という財政戦略』 村田 泰夫 県内企業の農・商・工がマッチング 「第二回近畿地区食品産業交流会」を開催 「農工商連携・6次産業化セミナー」を開催 施設園芸農業者と農業経営アドバイザー向けセミナーを開催 食品製造・加工業者の皆さまへ(HACCP資金のご案内) みんなの広場・編集後記 第10回アグリフードEXPO大阪2017
<b>特別企画</b>			
平成28年度アグリフードEXPO輝く経営大賞(東日本エリア) ～駆け上がる地域農業の担い手たち～ 有限会社イーエム総合ネット弘前／青森県			
<b>経営紹介</b>			
■経営紹介 株式会社瑞穂／福岡県 ■変革は人あり 岡山 克巳 岡山フードサービス株式会社／大阪府			

## 2017年1月号(第797号)

### 特 集

#### 挑戦! 新規の就農を語る

- 新春 本音トーク  
僕、俺、私たちは日本の農業を面白くする  
作るだけではない農業の仕組みに変える 及川 智正  
農業に成功を得るには、まず数字にあり 吉田 光宏

### 情報戦略レポート

食品企業の7割近くが機能性表示食品に関心  
低価格志向が景況感の足踏みで増加  
—2016年上半期 食品産業動向調査—

### 経営紹介

- 経営紹介 有限会社ドリームファーム／富山県  
■ 変革は人あり 赤地 勝美 グローバルピッギングファーム株式会社／群馬県

### シリーズ・その他

- |              |  |       |
|--------------|--|-------|
| ■ 観天望気       | 日本酒に期待するもの                                 | 田崎 真也 |
| ■ 農と食の邂逅     | 有限会社吉備高原ファーム 山本 陽子／岡山県                     | 青山 浩子 |
| ■ フォーラムエッセイ  | 箸を通して命をいただく                                | 小倉 朋子 |
| ■ まちづくりむらづくり | 魚のおいしいまちひたちなか推進協議会／茨城県ひたちなか市               | 二平 章  |
| ■ 耳よりな話      | パストールの功績－炭疽ワクチン                            | 内田 郁夫 |
| ■ 書評         | 高野 秀行 著『謎のアジア納豆－そして帰ってきた〈日本納豆〉』 青木 宏高      |       |
| ■ 交叉点        | APRACA研修受け入れ、理事会・総会参加                      | 情報企画部 |
| ■ インフォメーション  | 子ども絵画展2016の農林水産事業本部長賞を決定                   | 情報企画部 |
| ■ その他        | 食品製造・加工業者の皆さまへ(HACCP資金のご案内)<br>みんなの広場・編集後記 |       |

第10回アグリフードEXPO大阪2017

## 2017年2月号(第798号)

### 特 集

#### 時空をつなぐ林業の未来

- 新たな時代に対応する老舗の林業経営 藤森 隆郎  
無垢材の需要拡大の方策に林業再生の道 赤堀 楠雄  
「木のデパート」掲げ、ニーズの多様化に対応 坪野 克彦

### 情報戦略レポート

食の簡便化志向の傾向強まる  
20歳代はパンよりごはん  
—2016年度上半期 消費者動向調査—

### 経営紹介

- 経営紹介 株式会社長嶋／千葉県  
■ 変革は人あり 濱野 政彦 株式会社濱野製茶／熊本県

### シリーズ・その他

- |              |                                     |        |
|--------------|-------------------------------------|--------|
| ■ 観天望気       | 森林に降った雨                             | 沢田 治雄  |
| ■ 農と食の邂逅     | 有限会社松本畜産 松本 しおぶ／三重県                 | 青山 浩子  |
| ■ フォーラムエッセイ  | 思い出の味                               | 村松 真貴子 |
| ■ 主張・多論百出    | きまま工房「木楽里」 有限会社創林                   | 井上 淳治  |
| ■ 耳よりな話      | 国産初のイチゴ品種「福羽」                       | 吉岡 宏   |
| ■ まちづくりむらづくり | 鶴鳶げんきな会／島根県出雲市                      | 安部 勇   |
| ■ 書評         | 横川 善正 著『ホスピスからの贈り物—イタリア発、アートとケアの物語』 | 宇根 豊   |
| ■ インフォメーション  | 「平成28年度お客さま交流会」を開催<br>大勢が参加し活況の初交流会 | 千葉支店   |
|              | 「公庫林業資金友の会総会」を実施                    | 大分支店   |
|              | 「女性経営者懇談会」が盛況                       | 京都支店   |
| ■ その他        | 「事業性評価融資」のご案内<br>みんなの広場・編集後記        | 鳥取支店   |

第10回アグリフードEXPO大阪2017

## 2017年3月号(第799号)

### 特 集

#### 畜産業、経営継続の活路

- 畜産生産構造の変化に政策転換で対応を 小林 信一  
牛さんと呼び、ブランドと技術を磨く 野崎 喜久雄  
生乳生産の危機越えた酪肉複合経営 竹内 博夫

### 情報戦略レポート

稻作は3年ぶりに增收増益  
酪農・肉用牛も增收増益  
—2015年 農業経営動向分析—

### 経営紹介

- 経営紹介 株式会社千秋堂／岩手県  
■ 変革は人あり 王隱堂 政見 農業生産法人有限会社王隱堂農園／奈良県

### シリーズ・その他

- |              |  |        |
|--------------|--|--------|
| ■ 観天望気       | 勘や匠の技を生かす科学                                  | 本間 正義  |
| ■ 農と食の邂逅     | 渡邊ファーム・ひろ味工房 渡邊 博美／群馬県                       | 青山 浩子  |
| ■ フォーラムエッセイ  | おいしいものってなんだろう                                | 大原 千鶴  |
| ■ 主張・多論百出    | 松本自然農園                                       | 松本 直之  |
| ■ 耳よりな話      | 松阪牛発祥の地－畜産関連の碑めぐり（その14）－                     | 加茂 幹男  |
| ■ まちづくりむらづくり | MORIUMIUS／宮城県石巻市                             | 油井 元太郎 |
| ■ 書評         | 大泉 一貴、津谷 好人、木下 幸雄ほか 編修『農業経営概論』               | 村田 泰夫  |
| ■ インフォメーション  | 経営発展のための「強いチームづくり」を学ぶ交流会<br>栃木県と銀座を結ぶ農と食の交流会 | 帯広支店   |
|              | 「大阪府農業経営アドバイザー連絡協議会」が発足                      | 宇都宮支店  |
|              | 「やまぐち六次産業化・農商工連携推進大会」を開催                     | 大阪支店   |
| ■ 交叉点        | 福井市内でお客さま交流会を開催                              | 山口支店   |
|              | 平成28年度「アグリ・フード・ルネッサンス」を開催                    | 福井支店   |
| ■ その他        | 米国の食品見本市に初出展                                 | 青森支店   |
|              | みんなの広場・編集後記                                  | 情報企画部  |

第12回アグリフードEXPO東京2017

## 2017年4月号(第800号)

### 創刊800号記念

創刊に寄す 発刊に寄せて [完全復刻]  
巻頭言 ある農民魂 [完全復刻]  
誌面刷新で伝えたかったこと

小倉 武一  
白澤 道夫  
村田 泰夫

#### 創刊800号記念 特別企画

- いつも、農林漁業のかたわらに
- 創刊前夜
  - デフレ政策下の農家経渶
  - 食糧難感
  - 東京養豚農協を見る
  - わが家の農業経渶
  - 愛媛県O氏の林業
  - 松田研究農場を訪ねて
  - 攻めの農業  
—信州りんごの海外進出—
  - 農家の青年たちのパソコンによる経営管理の実践
  - 蓄養技術を価格に生かす
  - 島原から「健康・安全」な野菜  
—素肌美人はいかが—
  - 農政改革 いま現場では

#### 往復書簡 [完全復刻]

座談会「復刻」 北海道での農業経渶に挑戦した若者たち  
—新規就農者と就農希望者を囲んで— 北海道支店  
Covers Historyはじめのページでつたえる

### 情報戦略レポート

経営の秘訣は、収益力の方策は何か  
そこに情報が存在する  
—独自の調査、価値ある情報—

### 現地ルポ／あの時あの人は今

農事組合法人東山産業／香川県  
有限会社岩瀬牧場／北海道  
奥中山農協／岩手県  
有限会社たけもと農場／石川県  
  
■その他  
郷土玩具シリーズ [復刻]  
編集後記  
第12回アグリフードEXPO東京2017

## 2017年5月号(第801号)

### 特集

#### 農業コンサルタント世代

ネットワーク支援で拓くフードチェーン農業 大泉 一貴  
見えない農業経渶課題に経営診断を活用 村上 一幸  
経営課題の見える化は解決の近道なり 今井 一義

### 情報戦略レポート

食の志向は健康、安全が上昇  
ネット利用は配達の利便性に人気  
—2016年度 下半期消費者動向調査—

### 経営紹介

■経営紹介 有限会社大野農場／埼玉県  
■変革は人あり 松尾 雅彦 カルビー株式会社／東京都

### シリーズ・その他

■観天望気 農業とAI 山下 一仁  
■農と食の邂逅 松本農園 松本 純子／長崎県 青山 浩子  
■フォーラムエッセイ 幸せは、焼肉にある 田辺 晋太郎  
■主張・多論百出 NPO法人ココロのバリアフリー計画 池田 君江  
■耳よりな話 電気を用いた食品の殺菌 植村 邦彦  
■まちづくりむらづくり 小川作小屋村運営協議会／宮崎県児湯郡西米良村 上米良 秀俊  
■書評 辰巳 芳子 著『辰巳芳子の 野菜に習う』 青木 宏高  
■インフォメーション 経営発展を目的とした農と食の交流会を開催 甲府支店  
2回目の関西地区茶葉交流会を開催 近畿地区総括課・奈良支店  
「アグリフードEXPO2017」商談件数過去最多 情報企画部  
第12回「アグリフードEXPO東京2017」を開催します  
■その他 みんなの広場・編集後記  
第12回アグリフードEXPO東京2017

## 2017年6月号(第802号)

### 特集

#### 農業リスクマネジメント

農業リスクマネジメントの新たな展開 池戸 重信  
リスク管理経渶を次の世代に伝える 谷口 威裕  
成功例目指し植物工場のリスクに挑戦 木田 久喜

### 情報戦略レポート

農業景況DI過去最高値を更新  
設備投資の意欲も高まり最高に  
—2016年下半期 農業景況調査—

### 経営紹介

■経営紹介 有限会社半澤牧場／宮城県  
■変革は人あり 向山 茂徳 有限会社黒富士農場／山梨県

### シリーズ・その他

■観天望気 雇用型農業の課題 納口 るり子  
■農と食の邂逅 きぼうのたねカンパニー株式会社 菅野 瑞穂／福島県 青山 浩子  
■フォーラムエッセイ 毎日を楽しく食べる幸せ 後藤 恭子  
■耳よりな話 レーザー学者が先導した植物工場 吉岡 宏  
■まちづくりむらづくり NPO法人太平山南山麓友の会／栃木県栃木市 白石 喜一  
■書評 林 鷹央 編著『生きもの調査と里山ハーブで 田んぼソムリエになる!』 宇根 豊  
■農林水産省からのお知らせ 農業経営安定化のための新たな収入保険制度  
■インフォメーション HACCP制度化へ認定業務の勉強会 融資企画部  
六次産業化に積極的に取り組む農業者らが参集 宮崎支店  
新規就農者の研修座談会で経営課題に助言 静岡支店  
相互交流を通じ北海道農畜産物の高付加価値化目指す 札幌・帯広・北見支店  
■その他 認定新規就農者の皆さまへ  
みんなの広場・編集後記  
第12回アグリフードEXPO東京2017

## 2017年7月号(第803号)

特 集		シリーズ・その他	
<b>農業フロントの躍動女性</b>			
女性の能力が農業収益増に寄与する	日本公庫情報企画部	■ 観天望気	訪日観光客の日本食 伊藤 元重
●女性の経営参画事例		■ 農と食の邂逅	株式会社寺田農園 寺田 真由美／岐阜県 青山 浩子
●現地調査レポート		■ フォーラムエッセイ	母の読み聞かせ 松浦 弥太郎
女性の活躍を農政が推進する意味	佐藤 一絵	■ 主張・多論百出	全日本農商工連携推進協議会 都築 富士男
<b>情報戦略レポート</b>		■ 耳よりな話	忍者の干し肉が伊賀牛の元祖一畜産碑めぐり(15) 伊賀牛発祥之地ー 加茂 幹男
飲食業など景況改善動き足踏み		■ まちづくりむらづくり	木滑里山保全プロジェクト／石川県白山市 小杉 裕香
人手不足などがマイナスに作用		■ 書評	内山 節 著『半市場経済 成長だけでない「共創社会」の時代』 村田 泰夫
—生活衛生関係営業の景気動向等調査—		■ インフォメーション	農商工のマッチングにより六次産業化を支援 岡山支店 「福岡県認定農業者トップセミナー」を共催 福岡支店
<b>経営紹介</b>		■ その他	起業分野の一つとして農業を学ぶ 情報企画部 創造力あふれる高校生のビジネスプランを大募集 グランプリ運営事務局 『事業性評価融資』のご案内 みんなの広場・編集後記 第12回アグリフードEXPO東京2017
■ 経営紹介	小澤農園株式会社／滋賀県		
■ 変革は人あり	横町 労隆 八戸中央青果株式会社／青森県		

## 2017年8月号(第804号)

特 集		シリーズ・その他	
<b>始動! 農業強化の支援法</b>			
新たなステージを迎えた農政改革	堀 千珠	■ 観天望気	農地の価値 広瀬 栄
「作る」から「作って売る」農業の転換期	本誌編集部	■ 農と食の邂逅	カウベルミルクガーデン牧場株式会社、牧場のパン屋さんカウベル 伊藤 恵美／島根県 青山 浩子
競争力を強化する資材対策の切り込み	今野 聰	■ フォーラムエッセイ	母のミートローフ 大久保 朱夏
<b>情報戦略レポート</b>		■ 主張・多論百出	フォンテラジャパン株式会社 斎藤 康博
食品関係企業HACCP導入に8割超が意欲		■ 耳よりな話	高性能作業機への期待 大下 泰生
前回調査(2015年)を超える高い関心		■ まちづくりむらづくり	NPO法人棚田LOVER's／兵庫県神崎郡市川町 永井 裕一
—2016年下半期 食品産業動向調査結果—		■ 書評	旦部 幸博 著『コーヒーの科学「おいしさ」はどこで生まれるのか』 青木 宏高
<b>経営紹介</b>		■ 交叉点	第68回アグラカ理事会に参加 情報企画部
■ 経営紹介	株式会社出来商店／広島県	■ インフォメーション	農業経営アドバイザーの活動を推進 情報企画部
■ 変革は人あり	高橋 治儀 有限会社高儀農場／新潟県	■ その他	農業競争力強化支援資金のご案内 みんなの広場・編集後記 第12回アグリフードEXPO東京2017

## 2017年9月号(第805号)

特 集		シリーズ・その他	
<b>養殖業イノベーション考</b>			
日本に強みの技術でもうかる養殖業へ	奥澤 公一	■ 観天望気	新漁業者1915人 小坂 智規
海外市場を見据えた認証で攻めの水産を	小川 直也	■ 農と食の邂逅	有限会社ブルーベリーフィールズ紀伊國屋 岩田 康子／滋賀県 青山 浩子
未来の食料担う陸上循環型養殖の展望	遠藤 雅人	■ 耳よりな話	ウンシュウミカンの父と母 藤井 浩
<b>情報戦略レポート</b>		■ 主張・多論百出	社会活動家／Social Activist 森下 雄一郎
6,000~8,000m <sup>2</sup> に収益性ピーク		■ まちづくりむらづくり	NPO法人ゆうきハートネット／岐阜県加茂郡白川町 西尾 勝治
課題は安定生産と労働力の調達配分		■ 書評	橋 玲 著『読まなくてもいい本』の読書案内 知の最前線を5日間で探検する 宇根 豊
—施設園芸(トマト)経営に関する調査—		■ インフォメーション	新規就農者応援セミナー農林中金などと共に 宇都宮支店 「アグリフードEXPO輝く経営大賞」受賞者決定 情報企画部
<b>経営紹介</b>		■ その他	食品製造・加工業者の皆さまへ(HACCP資金のご案内) みんなの広場・編集後記 第11回アグリフードEXPO大阪2018
■ 経営紹介	株式会社オホーツク活魚／北海道		
■ 変革は人あり	松原 淳一 新日鉄住金エンジニアリング株式会社／東京都		

## 2017年10月号(第806号)

### 特集

#### 徹底解説・GAPを説く

真の持続的農業生産システムの構築  
国際化には周回遅れの食品安全規格  
GAPへの理解と目的の明確化を

田上 隆一  
岸 克樹  
荻野 宏

#### 情報戦略レポート

飼料用米の認知度高まらず  
畜産物や加工品購入は「味」などがカギ  
—2017年度上半期 消費者動向調査—

#### 経営紹介

■経営紹介 有限会社アクト農場／茨城県  
■変革は人あり 豊下 勝彦 ポークランドグループ／秋田県

### シリーズ・その他

- |             |   |       |
|-------------|---|-------|
| ■観天望気       | 農村の教育力  | 斎藤 潔  |
| ■農と食の邂逅     | 有限会社酒井農園 酒井 和代／徳島県                                    | 青山 浩子 |
| ■フォーラムエッセイ  | 脳を意識して食べてます!  | 堀尾 正明 |
| ■主張・多論百出    | 福島県喜多方市教育委員会  | 中村 豊子 |
| ■耳よりな話      | 種子をまくイチゴ  | 吉岡 宏  |
| ■まちづくりむらづくり | 国際トラクターBAMBA実行委員会／北海道河西郡更別村                           | 吉本 正美 |
| ■書評         | 長岡 淳一、阿部 岳著『農業をデザインで変える 北海道・十勝発、ファームステッドの挑戦』<br>村田 泰夫 |       |
| ■インフォメーション  | 第11回「アグリフードEXPO大阪2018」の出展者を募集しています 情報企画部              |       |
|             | 第12回「EXPO東京」商談引き合い件数過去最多 情報企画部                        |       |
| ■交叉点        | 香港最大級の国際食品見本市で日本農水産物・食品輸出を支援 情報企画部                    |       |
| ■その他        | みんなの広場・編集後記<br>第11回アグリフードEXPO大阪2018                   |       |

## 2017年11月号(第807号)

### 特集

#### スマート農業世代の宿題

精密農業進化で医療問題へ迫る  
畜産経営を変えるITサービスの可能性  
スマート農業へ突っ走る稻作経営者  
最先端技術を追う  
ドローンが翔ぶ農業の、いま 株式会社オプティム／佐賀県 村田 泰夫

#### 情報戦略レポート

上半期・通年見通しプラス維持も低下  
労働力不足により設備投資の意欲増  
—2017年度上半期 農業景況調査—  
生鮮トマトは「Ready to Eat」食品  
牛肉は赤身肉の購入機会が増加  
—2017年度上半期 消費者動向調査—

#### 経営紹介

■経営紹介 有限会社なかじま園／静岡県  
■変革は人あり 南 安子 東洋オリーブ株式会社／香川県

### シリーズ・その他

- |             |  |               |
|-------------|--|---------------|
| ■観天望気       | 若者の果物離れ  | 徳田 博美         |
| ■農と食の邂逅     | 出口 とし江／大阪府   | 青山 浩子         |
| ■フォーラムエッセイ  | 大皿でドンのおもてなし  | 羽田 美智子        |
| ■耳よりな話      | ブランドの元祖「伊賀豚」畜産碑めぐり (16)  | 加茂 幹男         |
| ■まちづくりむらづくり | 有限会社はたやま夢楽／高知県安芸市  | 小松 圭子         |
| ■書評         | 伏木 亨著『だしの神秘』   | 青木 宏高         |
| ■インフォメーション  | 経営発展の後継対策を学ぶ研修会<br>体系的に農業経営を学ぶ塾を開講   | 和歌山支店         |
|             | 若い担い手を育成「石川県若手農業者勉強会」  | 高松支店          |
| ■その他        | アドバイザーと弁護士が相談ブースで助言<br>食品製造・加工業者の皆さまへ<br>みんなの広場・編集後記<br>第11回アグリフードEXPO大阪2018 | 金沢支店<br>鹿児島支店 |

## 2017年12月号(第808号)

### 特集

#### 日本食、世界化への視界

日本食の魅力を世界化する基盤の整備  
現地の人々に受け入れられる日本食を  
グローバル世界に日本食文化の価値観  
加藤 一隆  
栗田 貴也  
辻 芳樹

#### 特別企画

平成29年度アグリフードEXPO輝く経営大賞(東日本エリア)  
～駆け上がる地域農業の担い手たち～  
有限会社ジェリービーンズ／千葉県

#### 経営紹介

■経営紹介 有限会社山口農園／奈良県  
■変革は人あり 雜賀 慶二 東洋ライス株式会社／和歌山県

### シリーズ・その他

- |            |   |       |
|------------|---|-------|
| ■観天望気      | 高付加価値化の食  | 木立 真直 |
| ■農と食の邂逅    | 芳賀 ひとみ／北海道  | 青山 浩子 |
| ■フォーラムエッセイ | お鏡さん  | 岩下 尚史 |
| ■耳よりな話     | 11年ぶりに乳牛の飼養標準改訂   | 阿部 啓之 |
| ■書評        | 中村 修著『ごみを資源にまちづくり 肥料・エネルギー・雇用を生む』 宇根 豊                                  |       |
| ■その他       | AFCフォーラム総目次 (2016年4月号～2017年12月号)<br>みんなの広場・編集後記<br>第11回アグリフードEXPO大阪2018 |       |

# みんなの広場

## メール配信サービスのご案内

日本公庫農林水産事業本部では、メール配信による農業・食品産業に関する情報の提供をしています。メール配信サービスの主な内容は次の4点です。

- ①日本公庫の独自調査（農業景況調査、食品産業動向調査、消費者動向調査など）結果
- ②公庫資金の金利情報や新たな資金制度のご案内、プレス発表している日本公庫の最新動向
- ③農業技術の専門家である日本公庫テクニカルアドバイザーによる農業・食品分野に関する最新技術情報「技術の窓」
- ④日本公庫が発行する『AFCフォーラム』『アグリ・フードサポート』のダウンロード

メール配信を希望される方は、日本公庫のホームページ([https://www.jfc.go.jp/n/service/mail\\_nourin.html](https://www.jfc.go.jp/n/service/mail_nourin.html))にアクセスしてご登録ください。  
(情報企画部)

最近は農村地域でも共稼ぎ夫婦が多くなっています。また、農業後継者の中にも、嫁は会社員という方が多くいます。農業者それぞれに考え方は異なると思いますが、私は最愛の家族と共に働き、同じ目標に向かって人生を歩んでいくことがでいる農業は、とても素晴らしい職業だと思っています。

レンコンの節によつて歯触りや味の違いがあることも分かり、とても興味深く楽しく拝読しました。  
(大分県別府市 河村 敏夫)

一〇月号「農と食の邂逅」で紹介された有限会社酒井農園の酒井和代さんの、地方公務員から転じて農家に嫁ぐという決断と生き方に感銘を受けました。

最近は農村地域でも共稼ぎ夫婦が多くなっています。また、農業後継者の中にも、嫁は会社員という方が多くいます。農業者それぞれに考

### みんなの広場へのご意見募集

本誌への感想や農林漁業の発展に向けたご意見などを同封の読者アンケートにてお寄せください。「みんなの広場」に掲載します。二〇〇字程度ですが、誌面の都合上、編集させていただことがあります。住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記してください。掲載者には薄謝を進呈いたします。

〔郵送およびFAX先〕

〒100-0004

東京都千代田区大手町一九一四

大手町ファイナンシャルシティノースタワー

日本政策金融公庫

農林水産事業本部

AFCフォーラム編集部

FAX 〇三一三七〇一三五〇

## 編集後記

# AFC Forum

### ■編集

鶴谷 元 嶋貫 伸二 清村 真仁  
中田 さと美 柴崎 勇太 城間 綾子  
小形 正枝 上原 理恵子

### ■編集協力

青木 宏高 牧野 義司

### ■発行

(株)日本政策金融公庫 農林水産事業本部  
Tel. 03(3270)2268  
Fax. 03(3270)2350  
E-mail anjoho@jfc.go.jp  
ホームページ <https://www.jfc.go.jp/>

### ■印刷 凸版印刷株式会社

### ■販売

株式会社日本食糧新聞社  
〒105-0003 東京都港区西新橋2-21-2  
第一南桜ビル  
Tel. 03(3432)2927  
Fax. 03(3578)9432  
ホームページ  
<http://info.nissyouku.co.jp/koudoku/>  
お問い合わせフォーム  
[http://info.nissyouku.co.jp/modules/form\\_mail/](http://info.nissyouku.co.jp/modules/form_mail/)

### ■定価 514円(税込)

ご意見、ご提案をお待ちしております。

卷末の児童画は全国土地改良事業団体連合会主催の「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展の入賞作品です。

スーパーなどでさまざまなブランド豚が売られているのを目にしてしまったが、ブランド豚には生産者のたゆまぬ努力と想いなどがたくさん詰まっていることを「ジエリービーンズ」を通じて改めて感じました。また、耕畜連携で作られている病気に強く葉肉が厚いヤマトイモがどのような物なのかとても気になります。

(中田)

「変革は人があり」の雑賀さまは

八三歳の今日まで家業に就いた当時の社会に貢献したいとの想いしながら、「ご自身の信念を貫き通します。環境に優しい精米技術の発明はとっても身近で画期的。まさに忙しい主婦の強い味方です。にこやかな笑顔の奥にはまた新しい発明に向けてのあふれんばかりの情熱がた

(小形)

農水省によると、本年一〇月には海外の日本食レストランは一二万店近くに増加し、一〇年前の五倍にもなるそうです。最近、海外に行つた方の話では、日本人の経営でなくとも、納得料理に出会うことが増えているよう。人材、食材、インフラが整い、本格懐石から「B級」まで世界化すれば日本の食産業への波及は計り知れません。

(嶋貫)

(城間)

世界的な日本食ブームで海外の日本食レストラン急増。この動きを国産農畜水産物輸出拡大につなげるのは、日本の外食企業が日本の外食文化を広げバイキングパワーを付けることが大切と理解しました。

栗田さんは、手痛い失敗は山ほどあると言います。トリドールをはじめ海外を目指す外食企業には困難に屈しないでほしいです。

一〇月号「農と食の邂逅」で紹介された有限会社酒井農園の酒井和代さんの、地方公務員から転じて農家に嫁ぐという決断と生き方に感銘を受けました。

最近は農村地域でも共稼ぎ夫婦が多くなっています。また、農業後継者の中にも、嫁は会社員という方が多くいます。農業者それぞれに考

世界的な日本食ブームで海外の日本食レストラン急増。この動きを国産農畜水産物輸出拡大につなげるのは、日本の外食企業が日本の外食文化を広げバイキングパワーを付けることが大切と理解しました。



国産にこだわり  
農と食  
をつなぎます。

## 第11回アグリフードEXPO大阪2018

プロ農業者たちの国産農産物・展示商談会

日時

2月21<sup>水</sup>/22<sup>木</sup>  
10:00~17:00 10:00~16:00

主催



日本政策金融公庫

会場

ATC アジア太平洋トレードセンター



## ● 次代に継ぐ



『伊佐津川』今村 椿妃 京都府舞鶴市社会福祉法人相愛福祉会相愛保育園

AFCフォーラム 平成29年12月1日発行(毎月1回)日発行)第65巻9号(808号)  
発行/(株)日本政策金融公庫 農林水産事業本部 〒100-0004 東京都千代田区  
販売/株式会社 日本食糧新聞社 〒105-0003 東京駅港区西新橋2-2-1 第一南桜ビル

区大手町1-9-4 Tel.03(3270)2268  
Tel.03(3432)2927 ■定価514円

3



日本政策金融公庫 農林水産事業本部

<https://www.ifc.go.jp/>